



東京で学ぶ 京大の知  
シリーズ15

# こころの未来

## — 私たちのこころは 何を求めているのか —

最も身近でありながら、簡単には答えがでない「こころ」の問題。こころにまつわる学問や問題意識は、現代社会においてあらためてクローズアップされています。本シリーズでは、文化心理学、脳科学、宗教学、臨床心理学のアプローチから、現代に生きる私たちの「こころ」とその行方について問い直します。人々の心は何を求め、どこへ向かおうとしているのか。こころの研究から浮かび上がってくることを、4人の講師がお話するとともに、毎回、異なる分野の研究者がディスカッサントとして登場し、学際的な議論を深めます。

**参加費無料**

【主催】 京都大学 【講演時間】 各回18時30分～20時

■ 開催場所・問い合わせ先

### 京都大学 東京オフィス

東京都港区港南2-15-1  
品川インターシティA棟27階

TEL | 03-5479-2220

FAX | 03-5479-2221

E-mail | t-office@www.adm.kyoto-u.ac.jp

URL | <http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/tokyo-office/>



京都大学東京オフィスのホームページから申込用紙をダウンロードし、FAXまたはメールでお申し込み下さい。各回定員100名、締め切りは5月20日(火)です。全4回のシリーズですが、1回のみお申し込みいただくことも可能です。なお、定員を超えるお申し込みをいただいた場合は、抽選とさせていただきます。

日本文化における主体性とは何か  
—日本人の意識、感情、関係性からの考察

第1回

5月28日(水)

内田 由紀子

こころの未来研究センター  
特定准教授



近代社会の中で私たちは自分の意思で何かを選ぶ「自由」を手に入れました。自由選択には、責任と主体性が伴いますが、これは日本社会において難しい課題の一つです。日本人のこころを巡る諸問題について、文化心理学の観点から論じます。

自分の意思で決めるとは  
どういうことか?

—心理学と脳科学の視点から

第2回

6月4日(水)

阿部 修士

こころの未来研究センター  
上廣こころ学研究部門  
特定准教授



現代の社会で私たちは驚くほどたくさんの決断を迫られます。感情の赴くままに決めることもあれば、自分の気持ちを抑えて決めることもあるでしょう。心理学と脳科学の観点から、私たちがどのように迷い、決めているのか、そのメカニズムを考えたいと思います。

求めるべき幸福とは

—ブータンの国民総幸福政策と  
その根底に横たわる精神性

第3回

6月11日(水)

熊谷 誠慈

こころの未来研究センター  
上廣こころ学研究部門  
特定准教授



近年、ブータンの「国民総幸福」(GNH)は大きな注目を集めています。そもそもブータンの人々はどうのような精神性を持ち、いかなる幸福を求めているのでしょうか。宗教学の視点から考えていきたいと思います。

主体性は超えられるのか?

—心理療法における揺らぎと超越

第4回

6月25日(水)

河合 俊雄

こころの未来研究センター  
教授



心理療法で問題になるのは、気力がなくなり学校に行けなくなる、重い病気や災害に遭うなど、主体性の揺らぎです。その際に主体性を回復すること同時に、主体性を越えた次元との関係が大切であることを論じたいと思います。